

男性の

## 育児休暇 制度・現状・課題

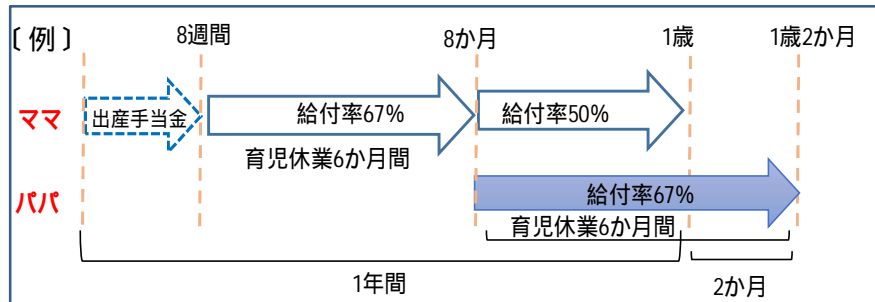
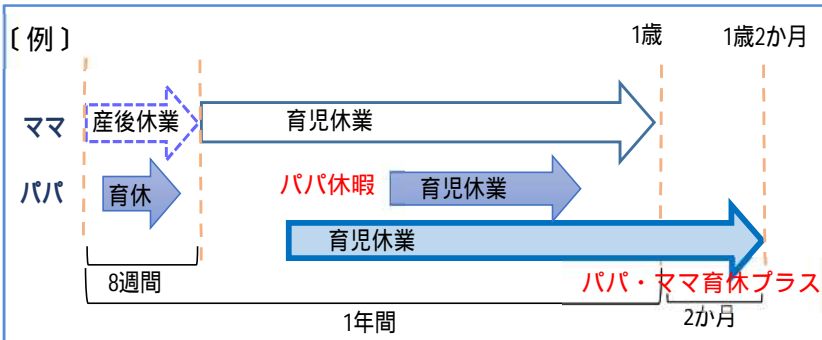


今、育児にもっと関わりたい！という男性が多くなっています。女性側に偏りがちな育児や家事の負担を夫婦で分かち合うことで、女性の出産意欲や継続就業の促進にもつながります。厚生労働省は、平成22年に「イクメンプロジェクト」を発足させましたが、パタニティハラスメントがあるなど男性の育児休業制度の取得率はなかなか上がりません。根底にあるのは、「男性は仕事、育児や家事は女性の仕事」という意識があるといわれています。

国は、男性の育休取得率を令和7年までに30%まで引き上げる目標(少子化社会対策大綱)を掲げています。

**パパ休暇** → 子の出生後8週間以内に育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても再度育児休業が取得できます。

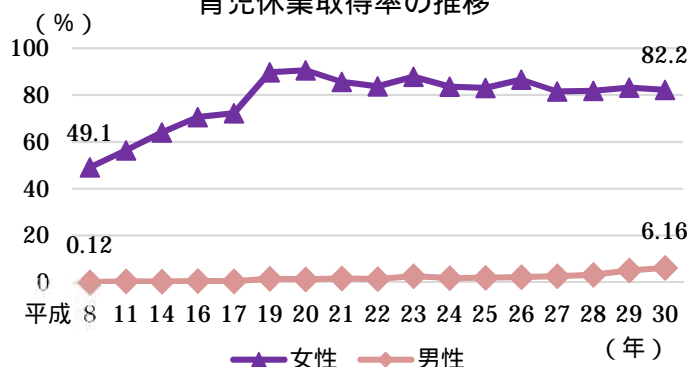
**パパ・ママ育休プラス** → 両親がともに育児休業をする場合、原則子が1歳までの休業可能期間が、子が1歳2か月に達するまで(2か月分はパパ或いはママのプラス分)に延長されます。保育園に入れない等の場合は、2歳まで延長可能。



**育児休業給付金** → 2人合わせて1歳2か月まで67%給付を受けられます。保育園などに入れない等の場合は、2歳まで50%の給付率で延長可能。



育児休業取得率の推移



国連児童基金(ユニセフ)の調査(令和元年)で、日本男性の育休制度は、経済協力開発機構(OECD)加盟国など41か国のうち**1位**に評価されました。「父親に6か月以上の有給育休制度を整備している唯一の国」として。ただし、「平成29年に取得した父親は20人に1人」と取得率の低さも指摘されました。

**パタニティハラスメント** → 育児にかかわる制度を利用する男性社員が、上司や同僚などから受ける嫌がらせ行為のこと。



平成29年の改正育児・介護休業法により、事業主は「上司・同僚からの育児・介護休業等に関する言動により育児・介護休業者等の就業環境を害することがないように防止措置を講じること」が義務付けられています。



### 《男性の育児休業取得率が低い理由(おもなもの)》

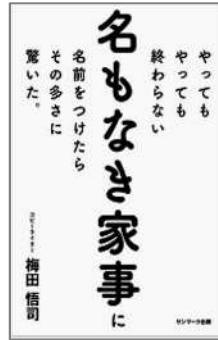
- \* 周囲が忙しすぎて、休暇を言い出せる雰囲気ではない。
- \* 育児休業を取得することによって、人員が不足し、職場や取引先に迷惑をかける。
- \* 育児休業を取得することによって、その後のキャリアに悪影響がでるおそれがある。
- \* 育児休業中の手取り収入が減る。
- \* 別に男性がとる必要がないと考えている。

テーマで読む

### 図書紹介

## イクメン カジダン

共働きが当たり前の時代へと変わりつつありますが、育児・家事の分担ははまだ妻に重くのしかかっているのが現状です。育児に積極的にかかわるイクメン、家事に率先して取り組むカジダン（家事男子）が増えれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、そして家族のあり方が変わっていくのではないのでしょうか。



やってもやっても  
終わらない名もなき  
家事に名前をつけたら  
その多さに驚いた。

梅田悟司著  
サンマーク出版 2019

家事をしていたらいつの間にか一日が終わっていた...。だって家事は無限にあるから。家事をやっている「つもり」の人にぜひ読んでほしい。



### ルポ父親たちの葛藤

おおたとしまさ著  
PHP 研究所 2016

仕事と家庭の板挟みになっている男性の現状と本音。夫に殺意さえ抱くという妻たちの本音。会社側の本音。家庭と会社の両方の生の声から現在の男性のおかれた立場を客観的に見、8つのヒントを提案する。



### ヨチヨチ父

ヨシタケシンスケ著  
赤ちゃん和妈妈社 2017

赤ちゃんが生まれるということは、あたらしくママとパパも誕生するという...。絵本作家の著者が父になってわかったトホホな真実を描く初の育児イラストエッセイ。

## 古典を旅する ~万葉集~



万葉集は7世紀後半から8世紀後半にかけて編纂された20巻からなる日本最古の和歌集で、昨年「令和」の出典としても注目されました。天皇や貴族をはじめ、作者不詳の防人や農民など様々の階級の人々の歌4500首あまりが収められ、古代日本人の生活を垣間見ることができます。なかでも山上憶良の歌は、子を思う親の気持ちが素直に表現されています。



さきもり  
防人

\* 瓜食(は)めば 子ども思ほゆ 栗食めば まして偲(しぬ)はゆ  
いづくより 来りしものぞ 眼交(まなかひ)に もとなかかりて  
安眠(やすい)し寝(な)さぬ (802 巻5)



瓜を食べれば、子どものことが思われ、栗を食べれば、一層思い出される。子どもを思うあまり安眠できない  
\* 銀(しろかね)も金(くがね)も玉も何せむに勝(まさ)れる宝子にしかめやも (803 巻5)  
金銀も玉も、子どもというすぐれた宝には及ばない

\* 憶良らは今は罷(まか)らむ子泣くらむ其も彼の母も我(わ)を待つらむぞ (337 巻3)  
私はもう失礼しましょう。今頃子どもが泣いているでしょうし、その子の母も私を待っているでしょう

万葉の時代における婚姻は、夫が妻の家に通う「妻問婚」でした。女系家長制で、子どもは特別な事情がない限り母親の家で育てられました。後に「婿取婚」に形を変え、夫婦は別居から同居に変わりました。

万葉びとの恋心や親子の情愛、悲しみなど瑞々しい言葉で紡がれた世界を旅してみませんか





**おうち性教育はじめてます**

フクチマミ、村瀬幸浩著  
KADOKAWA 2020

性教育は中高生からではなく幼児期からがベスト。おうち性教育は子どもを守るとともに、これから生きていく人格を育てる教育ともいえる。幼児期の日々の言葉かけから思春期の心身の変化まで、コミックでわかりやすく解説。



**管理職のためのハラスメント予防&対応ブック**

向井蘭著  
ダイヤモンド社 2020

ハラスメントが大きな労働問題になっている。パワハラは被害者が苦しむだけでなく、行為者にも苦しみを与えることがある。またSNSで拡散され会社の損失ともなる。管理職のためのハラスメント予防&対策。



**炎上CMでよみとくジェンダー論**

瀬地山角著  
光文社 2020

炎上したCMや自治体のPR動画を、4つに分類し、こうした表現が世に出た背景や批判された理由を紐解いていくことで、家事労働分担や家庭のあり方などをジェンダー論の観点から考察。



**女子学生はどう闘ってきたのか**

小林哲夫著  
サイゾー 2020

大学生活、課外活動、社会運動、学生運動等、様々な場面で差別され、不利益を被り、闘ってきた女子学生の歴史。そして今も、彼女達は、あまりにも理不尽な社会に対し、世界中で怒っている。

分類	書名	著者名	発行
146	いまこそ語ろうそれぞれのひきこもり	林恭子、斎藤環	日本評論社
366	管理職のためのハラスメント予防&対応ブック	向井蘭	ダイヤモンド社
367.1	男社会がしんどい	田房永子	竹書房
367.3	日本の少子化対策はなぜ失敗したのか？	山田昌弘	光文社
367.3	ちいさな大きなたからもの	瀬奈じゅん、千田真司	方丈社
367.6	図解新型コロナウイルス職場の対策マニュアル	亀田高志	エクスナレッジ
493	10代から考える生き方選び	竹信三恵子	岩波書店
599	母がはじまった	むびー	PHP研究所
599	僕たちは育児のモヤモヤをもっと語っていいと思う	常見陽平	自由国民社
780	歴史をかえた50人の女性アスリートたち	レイチェル・イグノトフスキー	創元社
916	介護のうしろから「がん」が来た！	篠田節子	集英社
916	天、共に在り	中村哲	NHK出版
916	動物の看護師さん	保田明恵	大月書店
929	アーモンド	ソン・ウォンピョン	祥伝社
995	女であるだけで	ソル・ケー・モオ	国書刊行会
いし	赤ちゃんをわが子として育てる方を求む	石井光太	小学館

# にゅーすBOX

## 男性の育休取得率 伸び悩む

厚生労働省によると、令和元年度の男性の育児休業取得率は、7.48%で7年連続増加となったが、前年度(6.16%)から小幅の上昇にとどまった。目標としてきた「2020年に13%」の達成には程遠く、政府は、更に男性の育児参加を促すため、妻の出産直後の夫を対象とした新たな休業制度を創設する方針を固めた。産休制度の父親版といえる措置で、育休よりも給付金の増額を検討している。出産直後の妻を、夫がサポートする機会にもなり、母親の産後うつを防ぐ効果なども期待されている。

## 出生率 東京は1.15

令和元年の人口動態統計(概数値)によると、1人の女性が一生の間に産む子どもの数を示す合計特殊出生率が、首都圏の1都3県すべてで前年を下回った。東京は1.15で最低で、神奈川県・千葉県は1.28、埼玉県は1.27。全国平均は1.36。首都圏の自治体は出生率の回復を目指して子育て支援策を拡充しているが、少子化に歯止めをかけるには至っていない。

## 「リーダーは男性向き」否定 8割

国立女性教育会館では、平成27年に民間企業に正社員で入社した新入社員を継続調査し、入社5年目までの初期キャリア期の意識変化を追跡した。それによると、入社5年目の男女の8割が「リーダーには女性よりも男性が向いている」を否定していることが分かった。また、管理職志向は、女性は男性より顕著に低く、入社後も下げ幅が大きかった。管理職志向ありと回答した入社1年目の女性は60%いたが、5年目には37.6%まで低下した。

## 日本人の寿命 過去最高

厚生労働省の発表によると、令和元年の日本人の平均寿命は、女性が87.45歳、男性が81.41歳で、過去最高を更新。日本を含む主要50の国・地域では女性は5年連続2位、男性は3年連続3位だった。1位は男女とも香港で、女性は88.13歳、男性は82.34歳だった。

## 練馬区 新しい児童相談体制

練馬区は、7月13日に練馬子ども家庭支援センターと同一施設に、都区共同で「練馬区虐待対応拠点」を設置した。練馬区虐待対応拠点では都児童相談所と区が情報共有し、虐待発生時には合同で調査するなど、児童虐待などに協働で対応する。これにより迅速かつ効果的な対応や都区双方の役割分担・強みを活かした一貫した対応、都区職員のスキルアップによる質の高い支援を実現し、区全体の児童相談体制が更に強化する。

## 男女共同参画白書 2020年版 閣議決定

男女共同参画白書2020年版が閣議決定された。白書は、約1万3600人を対象に実施されたインターネット調査をもとに分析。単身世帯の男女の「仕事がある日」の家事時間(1日当たり)を比較したところ、女性が1時間10分、男性が1時間で同水準だった。だが、子どもがいない夫婦世帯になると、妻が1時間59分に伸びた一方で、夫は45分に短縮。その差は2.6倍。家庭の家事を女性がより負担している状況が垣間見える。

## 子どもの貧困 7人に1人

厚生労働省が3年ごとに発表する国民生活基礎調査によると、平成30年の子どもの相対的貧困率は、13.5%だった。前回から0.4ポイント改善したが、子どもの約7人に1人は貧困状態にあり、国際的には高い水準。主に先進国でつくる経済協力開発機構(OECD)の平均12.8%を上回る。ひとり親世帯の貧困率も48.1%と初めて5割をきったものの、なお高水準。

## LGBT配慮 企業の1割のみ

厚生労働省初の実態調査で、LGBTなど性的少数者に配慮するため何らかの取り組みをしている企業は、全体の約1割にとどまることが分かった。「今後も実施予定がない」と回答した企業も3割以上あった。

## 女性教育長 過去最高

文部科学省によると、全国の教育委員会の教育長のうち、女性の占める割合が都道府県で8.5%、市町村は5.0%(令和元年5月時点)となった。いずれも過去最高。全国の教育委員の女性比率も都道府県は43.2%、市町村は40.7%で、こちらも調査開始以来過去最高となった。

また、厚生労働省が発表した令和元年度雇用均等基本調査によると、企業の管理職(課長級以上)に占める女性の割合は前年度から微増(0.1ポイント増加)、11.9%だった。依然として低水準が続いている。

## 意図せぬ妊娠をする女性 増加予想

国連人口基金(UNFPA)は、新型コロナウイルスによる医療サービスの混乱により、避妊薬や避妊具の入手が困難となったと警鐘を鳴らしている。この混乱が1年続いた場合、特に低・中所得国で意図しない妊娠をする女性が1500万人増えると予想している。UNFPAは、「避妊手段の入手は人命にも関わる。パンデミック(世界的大流行)の最中でも入手可能であるべきだ」と強調している。

